

目 次

- ・ 1998年度 臨時総会・研究発表報告  
『中小都市における公共図書館の運営』と近畿地区の公共図書館  
(石塚栄二)
- 臨時総会報告
- ・ 第16回研究集会発表者募集
- ・ 研究例会のお知らせ
- ・ 会員動向
- ・ 事務局から

1998年度 臨時総会・研究発表報告 (1999年3月13日 京大会館)

『中小都市における公共図書館の運営』と近畿地区の公共図書館

石塚 栄二

(帝塚山大学)

『中小都市における公共図書館の運営』は1963年に刊行された。このレポートが近畿地区の公共図書館人にどのように受け止められたか。また、この地域の図書館サービスの進展にどのような影響をあたえたかを検証するのが、あたえられた課題である。

1 1963年当時の地区内の公共図書館の状況

『日本の図書館』によれば、当時の地区内の公共図書館は57館である。

当時、近畿地区の公共図書館のブロック態勢を推進していたのは、近畿地区公共図書館研究会とよばれた府県立図書館長を中心とする主要図書館の館長会議であった。そのメンバーは、現在とは異なり、長期間在職していた優れた方々であったが、やはり歴史のある大図書館中心の意識に傾いていたことは否定できない。

そのメンバーをあげるならば、次のような方々であった。

小林重幸 (滋賀県立)、相馬利雄 (京都府立)、中村祐吉 (大阪府立)、  
飯田一夫 (奈良県立)、宮崎米一 (和歌山県立)、西藤寿太郎 (大阪市立)、  
赤井千磐 (神戸市立)

その他、直前まで館長職にあり影響力を持っていた方々としては、西村精一、志智嘉九郎の両氏がある。

そのためか、当時大阪府下で活発な活動を展開していた市立図書館長のあいだで、市立図書館だけの連絡団体を作ろうという意見がでていたことを記憶している。この時期の貸出サービスの数字は、府県内図書館の総計で以下のとおりであった。

	個人登録	貸出冊数		個人登録	貸出冊数
滋賀県	6,416人	124,238冊	京都府	12,938	192,158
大阪府	15,142	167,899	兵庫県	19,524	162,094
奈良県	12,223	71,736	和歌山県	7,525	90,629

## 2 レポート刊行直後の反響

レポート刊行後開催された検討会に参加した図書館員の反響として活字に記録されているものとしては、豊中市立の久保和雄氏、伊丹市立の門脇平八氏の報告（図書館雑誌58(7)）と、森耕一氏の書評および兵庫県教育委員会の森本敏克氏、石川正知氏の『図書館界』誌上の論文での言及がある。

当時の各種集会等における反響は、探し得なかった。日本図書館研究会の記録には見当たらない。

このことから、近畿地区での刊行直後における反響は、館界に影響力を持つ人々の間では、必ずしも好意的なものばかりではなかったと推定できる。これを裏付けるものとして、当時、ある大図書館長の発言に「中小図書館に関するものだからね」ということばがあったことを記憶する。

## 3 レポートの影響が現われる時期

森耕一館長によって1971年大阪市立天王寺図書館においてBMのサービスが開始されたこと、1973年天満隆之輔館長による枚方市立図書館の活動開始から、実質的なレポートの影響が現われたといえよう。しかし、これはレポートよりも日野図書館の影響というべきかもしれない。

レポート刊行後10年後、20年後の図書館サービスの数字を示せばつぎのとおりである。（）内の数字は1963年度の数字に対する倍率である。

	個人登録		貸出冊数	
	73年	83年	73年	83年
滋賀県	7,864 (1.2)	117,984(18.4)	224,662(1.8)	1,373,000 (11.1)
京都府	30,386 (2.4)	229,269(17.7)	239,386(1.3)	3,279,000 (17.1)
大阪府	155,698(10.3)	872,731(57.6)	1,624,007(9.7)	17,514,000(104.3)
兵庫県	81,230 (4.2)	461,000(23.6)	1,109,659(6.9)	8,359,000 (51.6)
奈良県	14,741 (1.2)	85,878 (7.0)	168,444(2.4)	983,000 (13.7)
和歌山県	12,035 (1.6)	27,712 (3.7)	94,974(1.1)	1,615,000 (17.8)

結論的にいえば、近畿地区における図書館サービスの進展は、地域によりずればあるが1970年代から始まり、1980年代に至ってようやく定着したとみることができ

よう。

それをレポートの影響とみるか、全国的な趨勢の一環であるとみるかは、容易ではない。いずれにしても、近畿地区においては1963年の影響は遅れて現われているというべきであろう。

## 日本図書館文化史研究会臨時総会報告

日時：1999年3月13日（土）14:15～15:30

場所：京大会館（京都市）

議題：次期運営委員会発足と事務局の関西地区への移動について

審議に先立ち、議事進行役として工藤一郎氏を選出。次いで「研究会規約」に従い、議事は次の順序で進行した。

1. 現在の運営委員会を代表して、事務局長（中林）から次期事務局への移行について経緯を説明（関連資料配付）、了承を得る。
2. 次期運営委員（候補）の総会への提案と総会での選任。
3. 次期運営委員会の開催。役員を互選。  
(別室。その間、総会は暫時休憩)
4. 総会を再開し、役割分担と事務局長を発表、了承を得る。

以上の結果、新体制は以下のようなになる。

### 新役員体制

役員任期：1999年4月1日～2002年3月31日

代表：新運営委員会で継続協議。決定までの間、暫定的に現在の小川徹代表が代行する。

運営委員：石井敬三、小黒浩司、川崎良孝、工藤一郎、阪田蓉子、深井耀子

事務局長：石井敬三

編集委員：運営委員が兼務するが、地理的条件から実務は小黒委員が中心になって進める。関西在住の委員は、査読等に協力する。

監事：9月の総会までに運営委員会で人選して承認を求める。

### 原稿募集

- ◇ 「ニューズレター」の原稿を募集しています。  
研究に関する情報、書評なんでも結構です。（できるだけワープロで、MS-DOS標準テキストの原稿を）事務局（石井）あてお送りください。
- ◇ 『図書館文化史研究』16号は現在編集中ですが、まだ紙面に余裕があります。投稿希望の方は、至急事務局までご連絡ください。

## 1999年日本図書館文化史研究会 第16回研究集会 発表者募集

日本図書館文化史研究会では、下記の要領で研究集会を開催いたします。つきましては、発表者を募集し、併せて会員の皆様の積極的なご参加をお願いいたします。また、研究集会のテーマについてもご意見を募ります。

### 記

#### ☆第16回研究集会・総会開催要領

日 時：9月11日(土)～12日(日)

会 場：法政大学 大学院棟 301・302

参加費：未定

プログラム(案)

第1日目午後 テーマに沿った個人研究発表および討論

夕方 懇親会(大学院棟地下 第2学生食堂)

第2日目午前および午後 個人自由発表および質疑応答

午後3時～4時 総会

詳細は、「ニューズレター」次号に掲載する予定です。

#### ☆発表者等募集要領

発表時間は質疑応答を含め45分程度を予定。最終的には応募状況により調整。発表希望者は、氏名、住所、電話番号、所属、発表題目を記載の上、申し込んでください。

テーマ：図書館文化史の立場から図書館法制を考える(仮題)

—図書館法公布50年にちなんで—

ただし2日目の個人自由発表については、研究集会のテーマに限定しませんので、テーマ以外の研究発表もふるってご応募ください。

申込締切：6月10日(木)

申込先：中林隆明

なお、今年度の研究集会・総会は関東地区旧運営委員会を母体とする実行委員会が担当する予定です。去る4月24日(土)に関東地区旧運営委員会は会合を開き、研究集会のテーマについて次のような内容を話し合いました。会員の皆様のご意見を得てテーマをまとめていきたいと思っておりますので、ご意見をお寄せください。

今年で図書館法制定（1950. 4. 30）から50年を迎えます。21世紀は高度情報化社会、多文化、生涯学習の時代と予測されています。最近、この図書館法の改正について館長の司書資格、有料制の問題など活発な論議が展開されています。さらに1997年6月には、司書教諭に関わる学校図書館法（1953. 8）の一部改正がありました。国立国会図書館に関していうならば、ニューメディアの出現普及による納本規定の改正問題、国際子ども図書館の発足（2000）、関西館の開館（2002）など、その設置を定めた国立国会図書館法（1948. 2）も大きな変容を迫られようとしています。また、図書館サービスと著作権保護の関連も重要な課題です。そこでこの記念すべきこの時期に、図書館法制を国際的な視野の上に立って、図書館文化史的観点から考えてみたいと思います。会員の皆様の積極的なご参加、ご議論を期待しております。

## 研究例会のお知らせ

### ☆関西地区研究例会（1999年度）

日時：6月18日（金）6時30分～8時30分

テーマ：『ボストン市立図書館100年史』を翻訳して

発表者：川崎良孝（京都大学）

要旨：今年の2月に、ホワイトヒル著『ボストン市立図書館100年史』（1956年）を日本図書館協会から翻訳刊行した。同書を手掛かりして、アメリカ公立図書館史研究の現状と課題を探り、いろいろな雑感をまじえて報告したい。（なお今回の研究例会は日本図書館研究会との共同例会である。）

場所：大阪市立弁天町市民学習センター

（JR環状線または地下鉄中央線「弁天町駅」下車、  
駅前オーク2番街7階）

### ☆関東地区研究例会（1999年度第1回）

日時：6月19日（土）2時30分～4時30分

発表：宇治郷毅「韓国の読書推進運動について」

石川敬史「埼玉県における移動図書館（1950－1970年代）の展開  
について」

場所：国立国会図書館・サークル室

（本館6階西側、西口1階エレベータで6階まで）

## 会員動向

### 新入会員

### 会員消息・名簿訂正等

#### 事務局から

臨時総会の報告にもありますように、新運営委員による執行体制が4月1日にスタートしました。事務局が不慣れなために、ご迷惑をおかけすることがあるかも知れませんが、なるべく早くスムーズな研究会運営が行えるよう努力いたしますので、ご支援のほどお願い申し上げます。

事務局の住所表示が京都独特の表記によるため長くてご迷惑をおかけしますが、ご寛容のほどお願いいたします。

また、郵便振替の口座番号が変更になりました。(郵便振替 00940-8-143043) 振込票を同封いたしましたので、今年度会費(3,000円)納入をお願いいたします。会費の振込につきましては、恐れ入りますが、従来通り振込料金のご負担をお願い申し上げます。

日本図書館文化史研究会 事務局 石井敬三